

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室
大項目	2 人権教育・人権問題 《全学的な視点》	
中項目		
小項目	2.0.1 人権教育は、本学の使命・目的に照らして適切に行っているか。	
要素	(KG1) 方針、実施内容	
	(KG2) 人権意識の涵養とその現状	
小項目	2.0.2 人権問題への対応を適切に行っているか。	
要素	(KG1) ハラスメント防止のための措置の適切性	
	(KG2) セクシャル・ハラスメント防止への対応	
	(KG3) アカデミック・ハラスメント防止への対応	
	(KG4) その他ハラスメント防止への対応	
	(KG5) 人権侵害の防止とその対応	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. ミッションステートメントにふさわしい新たな人権教育の基本方針を明確化する。	→ 新たな人権教育の基本方針の明確化を目指して、学長室と人権教育研究室との定例検討会を開催する。	D	D	D		
2. 新たな人権教育の基本方針の検討を踏まえて、人権に関する意識を涵養する教育を実践する。	→ 人権問題講演会や研究会をフィルムセッション、写真展、トークカーと聴衆との双方向的なトークセッションといった学生に親しみやすい形式で行うようにするとともに、時代の流れに対応した新しい人権教育科目を拡充する。	A	A	A		
3. 学内において人権教育を担う教職員の育成をふまえた人権文化をはぐくむ環境を整備する。	→ 学生(特に新入生)に対して、啓発パンフレットを配布し、人権教育科目の履修を督促する。教職員に対しては、大学主催の人権問題講演会への積極的な参加を奨励する。	B	B	B		
	→					
	→					

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	最も困難な課題であるとの認識のもとに、目標達成のための方法について吟味している。
目標2	目標は達成されている。
☆ 目標3	目標達成に向けて尽力している。
備考	